

早稲田大学文学学術院

東洋哲学コース

大学院進学説明会資料

(2025年度)

◆紹介

1882年、大隈重信は東京専門学校を創設し、1890年に文学科が設置された。1902年には大学昇格とともに、早稲田大学と改称した。1920年には、新大学令に基づき、文学部哲学科東洋哲学専攻が発足した。1932年には学制改革により、支那哲学専攻（津田左右吉ら）と印度哲学専攻（武田豊四郎ら）に分割された。1940年、日本・中国思想の研究で名高い津田は、著書の発禁処分を受けたことなどから教授を辞任する。1941年には再び東洋哲学専攻が復活し、福井康順が主任教授となった。福井は道教研究で知られるが、同時に仏教学・天台学の泰斗でもあった。1949年、新制大学制度に基づく第一・第二文学部が発足し、第一文学部には東洋哲学専修が、第二文学部には哲学専修が設けられ、1951年には新制大学院が発足した。第二文学部の東洋哲学関係科目は、後に東洋文化専修、さらに思想・宗教系専修に再編されたが、2007年に募集を停止して、第一文学部とともに、新たに文化構想学部・文学部に再編された。

現在文学学術院は、大学院文学研究科・文化構想学部・文学部の一研究科・二学部体制をとっている。大学院東洋哲学コース所属教員6名のうち、3名は文学部の同コース所属であるが、3名は文化構想学部多元文化論系に所属している。そのため、文学部ばかりでなく、文化構想学部にも東哲関係の科目が多く配置されている。

津田左右吉は、古典を一字一句ゆるがせにしない厳しい研究態度をとっており、その伝統はインド・中国・日本の三分野からなる東洋哲学コースに色濃く受け継がれている。第二次大戦後の東哲研究室は、津田の直接の弟子である福井康順・原田正己・小林昇らを中心に運営され、やや弱い分野であったインド

学・仏教学の分野に、宮本正尊・田中於菟弥・平川彰・高崎直道らを、東京大学などから招く体制が続いた。次いで、福井康順の薫陶を受けた楠山春樹・三崎良周・菅原信海・福井文雅らが研究室の中心となり、さらに小林正美・岩田孝・土田健次郎らを輩出した。現在は教員募集も公募制となり、広く門戸を開いている。2025年度の大学院指導教授は、以下に紹介する6名である。

◆大学院東洋哲学コース 専任教員紹介

よしはら ひろと
吉原 浩人 教授

日本宗教思想史・日本古代中世文学

(2025年度まで在職)

摂関期から院政期を中心とする平安朝の宗教・文学・歴史・美術の総合的研究を目指しています。特に現在は、勸学会・大江匡房・八幡信仰・唐宋時代の東アジア仏教交流史などを、主な研究テーマとしています。そのほか、浄土教の日本伝播、寺社縁起と霊場信仰、神道の語義、いわゆる中世神話と中世神道、近代文学と宗教、絵解きなどのテーマにも、強い関心を持っており、それぞれ研究を続けています。

大学院では、前近代の日本思想の諸問題および浄土教思想の研究指導を担当しています。東洋哲学コースでは、一字一句をゆるがせにしない原典講読が基本となります。大学院では、四六駢儷文を中心とした漢文訓読が必須となりますが、初学者には手ほどきをいたしますので、ともに学んでいきましょう。

《最近の主な研究成果》

『南岳衡山と聖徳太子信仰』（共編著）勉誠出版、2018

『中世禅籍叢刊』第12巻「稀観禅籍集 続」（『心性罪福因縁集』担当）臨川書店、2018

『古鈔本『江都督納言願文集』』（編著）二松学舎大学21世紀COEプログラム、2009

『海を渡る天台文化』（共編著）勉誠出版、2008

『東洋における死の思想』（編著）春秋社、2006

わたなべ よしひろ
渡邊 義浩 教授 古典中国学

中国の社会や国家が危機を迎えたとき、自らの古典として振り返るべき「古典中国」が漢帝国で形成された。そこでは、儒教の経義に基づき、封建・大一統・井田・学校・華夷の別といった国家の大綱が定められるだけでなく、他の哲学・宗教はもとより史学・文学・自然科学も、儒教の規制下にあった。そうした「古典中国」は、宋代に「近世中国」として再編され、両者を否定する中で「近代中国」が形成されるが、その影響力は今日の中国にまで続く、という仮説を提示しています。なかなか実証が追いつきませんが、そのうち何とかなるつもりで続けています。

《最近の主な研究成果》

『全譯 論語集解』（主編）汲古書院、全二巻、2020

『「古典中国」の形成と王莽』汲古書院、2019

『『論語』の形成と古注の展開』汲古書院、2021

『「古典中国」における史学と儒教』汲古書院、2022

『中国古代における軍事と儒教』汲古書院、2025

かきうち けいこ
垣内 景子 教授 朱子学

中国近世の儒教思想、主に朱子学と、その日本への影響を中心に研究を行っています。特に、朱子学研究の基本文献の訳注作業をライフワークとしています。

朱子学は、長い伝統を有する儒教思想の革新であり、その後の中国思想史の展開を大きく基礎づけたものです。また日本をも含む東アジアの近世・近代思想にも大きな影響を与えました。朱子学を理解することは、中国の伝統思想を理解するだけにとどまらず、東アジアに生きる自分たちのものの考え方や価値観を見つめ直す契機になるはずです。

大学院では、朱子学の基本文献を中心に原典資料を読み解くための力を養うことを第一目標とすると同時に、朱子学を通して東アジアにおける哲学の可能性を探ることを目指します。

《最近の主な研究成果》

『朱子学のおもてなし』 ミネルヴァ書房、2021

「『物の理を窮める』と『もののあはれをしる』」（『いま、哲学が始まる。』） 明治大学出版会、2018

「心学としての朱子学——朱熹の「理」批判と経学」（『「心身/身心」と環境の哲学』） 汲古書院、2016

『朱子学入門』 ミネルヴァ書房、2015

『「朱子語類」訳注』 汲古書院、2010・2012・2014・2017

森 ^{もり}由利亜 ^{ゆりあ} 教授 中国近世道教・神仙信仰

中国の道教（道家）、神仙思想を研究しています。特に明清期の道教および仙道の信仰、儀礼、經典、思想等を中心に研究してきました。大学院の授業では、研究指導の他に、北宋・張伯端『悟真篇』（『悟真篇注疏』）と六朝時代の道教經典（現在は靈寶經）を中心に注解・翻訳を行っています。現在、世界の道教研究は急速に進展しています。国際的な研究動向を踏まえながら、広い視野から道教研究を行う研究室を目指しています。

《最近の主な研究成果》

「朱元育『參同契闡幽』の内丹法について」『東方宗教』（137）49–74、2021年11月

「閔一得『金蓋心燈』に見る「龍門正宗」の物語(narrative)作りの一側面：朱文藻・張復純『金鼓洞志』との對比から見る黄赤陽の役割り」『多元文化』（10）222-199、2021年02月

「朱元育『悟真篇闡幽』の内丹法：『參同契闡幽』との比較を通じて」『東方宗教』（140）23–50、2022年11月

「閔一得『呂祖師三尼醫世説述』の形成：湖州周辺の呂祖扶乩信仰を利用した「龍門正宗」正統化」早稲田大学大学院文学研究科紀要(68) 1042-1026、2023年3月

"The Secret of Golden Flower (Jinhua Zongzhi 金華宗旨) and Zhu Yuanyu 朱元育's Neidan Method: Centering on the Examination of the Content of Chapter Eight, 'Instruction for Rambling Without Destination (Xiaoyao Jue 逍遥訣)', *Religions* 2025, 16(5), 550. (電子ジャーナルにつき、頁数なし)

インド仏教における唯識瑜伽行派の思想とその東アジアへの伝播、またインドから中央アジア（シルクロード）に至る地域における仏教の実践（禅観）が主な研究領域です。禅定における身心相関を基本的な問題意識としており、仏教の実践における自己の転換がどのようなメカニズムで起こるのか、またかつての仏教者たちがインドやシルクロードの石窟寺院でどのような実践に取り組んでいたのか等の解明を目指しています。最近では、瑜伽行派におけるアーラヤ識起源論および種子説の展開の解明が主たる研究テーマです。国際的な研究交流にも積極的に取り組んでおり、海外のさまざまな学会等で発表・講演を行なっている他、中央アジアで発見された梵文仏教瑜伽書（通称 Yogalehrbuch）の英訳プロジェクトに参加しています。

大学院の授業では、現在『瑜伽師地論』の原典を読んでいます。読むテキストは年度毎に受講生のニーズも勘案しながら選定したいと思っています。

《最近の主な研究成果》

A Hypothetical Reconsideration of the “Compilation” of *Cheng weishi lun*. In *From Chang'an to Nālandā: The Life and Legacy of the Chinese Buddhist Monk Xuanzang (602?–664)*. World Scholastic Publishers, 2020
Ālayavijñāna in a Meditative Context. In *Mārga: Paths to Liberation in South Asian Buddhist Traditions*. Austrian Academy of Sciences Press, 2020

The Position of Conceptualization in the Context of the *Yogācāra Bīja* Theory. In *Illuminating the Dharma: Buddhist Studies in Honour of Venerable Professor KL Dhammajoti*, edited by Toshiichi Endo, 463-86. Hong Kong: Centre of Buddhist Studies, The University of Hong Kong, 2021.

Did Monks Practice Meditation in Indian Rock-Cut Monasteries? And If Affirmative, Where in the Monastery? *International Journal of Buddhist Thought and Culture* 33, 1 (2023): 19-59.

袁勇訳・〈汉文禅观文献与蒙古语禅经的比较研究—基于《五门禅经要用法》《思惟略要法》和《禅秘要法经》〉，《西域文史》17 (2023):

123-34.

もろ 師 しげき 茂樹 教授 日本仏教思想・東アジア仏教思想

奈良時代から鎌倉時代にかけて列島で展開した仏教思想を、東アジア仏教という広い文脈のなかで解明する研究をしています。これまで、最澄・徳一論争をはじめとする東アジアで展開した仏性論争・三一権実論争、三論宗と法相宗の所謂「空有の論争」、因明学（東アジアの仏教論理学）、奈良時代と平安時代の唐決文献、達磨宗文献などを研究してきました。近年は、成実宗の教理について取り組んでいます。

また、仏教学でのコンピュータ利用方法（データベース構築、自然言語処理など）や、AI や再生医療などの現代的諸課題について仏教哲学・仏教倫理によって検討する研究なども行っています。

大学院の授業では、文献学による原典講読が中心となりますが、仏教研究の方法論についても講義やディスカッションを行なっています。

《最近の主な研究成果》

“Sthiramati, Paramārtha, and Wōnhyo: On the Sources of Wōnhyo’s *Chungbyōn punbyōllon so.*” *Journal of Korean Religions* 11(1): 23-43, 2020.

『最澄と徳一：仏教史上最大の対決』岩波書店, 2021.

「日本近現代的因明研究（上）：明治時期的因明研究」『近現代中外因明研究学術史（下册）』上海書店出版社, 2023.

「達磨宗・仏地房覚晏『心根決疑章』訓註（上）（中）（下）」（館隆志，吉村誠，師茂樹，山口弘江，柳幹康との共著）『駒澤大學佛教學部論集』52-54, 2021-2023.

「空海の証明方法」『佛教文化論集：川崎大師教学研究所研究紀要』13: 55-75, 2024.

◎教員のより詳しい業績一覧は、<https://www.waseda.jp/flas/faculty/>で参照できます。

2025 年度東洋哲学研究室カリキュラム

【東洋哲学コース】								
東洋哲学特殊問題1	2	春学期	水	4	無期講師	博士(文学)早大	松本 知己	日本語
東洋哲学特殊問題2	2	秋学期	水	4	無期講師	博士(文学)早大	松本 知己	日本語
東洋哲学特殊問題3	2	春学期	金	3	講師	博士(文学)早大	仙石 知子	日本語
東洋哲学特殊問題4	2	秋学期	水	5	講師		石井 剛	日本語
東洋哲学特殊問題5	2	春学期	木	5	教授	博士(文学)早大	垣内 景子	日本語
東洋哲学特殊問題6	2	秋学期	木	5	教授	博士(文学)早大	垣内 景子	日本語
東洋哲学研究1	2	春学期	金	5	教授	博士(文学)早大	森 由利亚	日本語
東洋哲学研究2	2	秋学期	金	5	教授	博士(文学)早大	森 由利亚	日本語
東洋哲学研究3	2	春学期	火	3	教授	文学博士(筑波大)	渡邊 義浩	日本語
東洋哲学研究4	2	秋学期	火	3	教授	文学博士(筑波大)	渡邊 義浩	日本語
東洋哲学研究5	2	春学期	月	3	教授		吉原 浩人	日本語
東洋哲学研究6	2	秋学期	月	3	教授		吉原 浩人	日本語
東洋哲学研究7	2	春学期	金	4	教授		師 茂樹	日本語
東洋哲学研究8	2	秋学期	金	4	教授		師 茂樹	日本語
東洋哲学演習1-1	2	春学期	火	3	教授		吉原 浩人	日本語
東洋哲学演習1-2	2	秋学期	火	3	教授		吉原 浩人	日本語
東洋哲学演習2-1	2	春学期	火	2	教授	文学博士(筑波大)	渡邊 義浩	日本語
東洋哲学演習2-2	2	秋学期	火	2	教授	文学博士(筑波大)	渡邊 義浩	日本語
東洋哲学演習3-1	2	春学期	火	5	教授	博士(文学)早大	垣内 景子	日本語
東洋哲学演習3-2	2	秋学期	火	5	教授	博士(文学)早大	垣内 景子	日本語
東洋哲学演習4-1	2	春学期	木	3	教授	Ph.D.Yale大	山部 能宜	日本語
東洋哲学演習4-2	2	秋学期	木	3	教授	Ph.D.Yale大	山部 能宜	日本語
東洋哲学演習5-1	2	春学期	月	2	教授		師 茂樹	日本語
東洋哲学演習5-2	2	秋学期	月	2	教授		師 茂樹	日本語
東洋哲学演習6-1	2	春学期	木	4	教授	博士(文学)早大	森 由利亚	日本語
東洋哲学演習6-2	2	秋学期	木	4	教授	博士(文学)早大	森 由利亚	日本語
東洋哲学研究指導1-1 M	—	春学期	月	4	教授		吉原 浩人	日本語
東洋哲学研究指導1-2 M	—	秋学期	月	4	教授		吉原 浩人	日本語
東洋哲学研究指導2-1 M	—	春学期	火	4	教授	文学博士(筑波大)	渡邊 義浩	日本語
東洋哲学研究指導2-2 M	—	秋学期	火	4	教授	文学博士(筑波大)	渡邊 義浩	日本語
東洋哲学研究指導3-1 M	—	春学期	火	4	教授	博士(文学)早大	垣内 景子	日本語
東洋哲学研究指導3-2 M	—	秋学期	火	4	教授	博士(文学)早大	垣内 景子	日本語
東洋哲学研究指導4-1 M	—	春学期	木	4	教授	Ph.D.Yale大	山部 能宜	日本語
東洋哲学研究指導4-2 M	—	秋学期	木	4	教授	Ph.D.Yale大	山部 能宜	日本語
東洋哲学研究指導5-1 M	—	春学期	月	1	教授		師 茂樹	日本語
東洋哲学研究指導5-2 M	—	秋学期	月	1	教授		師 茂樹	日本語
東洋哲学研究指導6-1 M	—	春学期	木	5	教授	博士(文学)早大	森 由利亚	日本語
東洋哲学研究指導6-2 M	—	秋学期	木	5	教授	博士(文学)早大	森 由利亚	日本語
東洋哲学研究指導1-1 D	—	春学期	月	4	教授		吉原 浩人	日本語
東洋哲学研究指導1-2 D	—	秋学期	月	4	教授		吉原 浩人	日本語
東洋哲学研究指導2-1 D	—	春学期	火	4	教授	文学博士(筑波大)	渡邊 義浩	日本語
東洋哲学研究指導2-2 D	—	秋学期	火	4	教授	文学博士(筑波大)	渡邊 義浩	日本語
東洋哲学研究指導3-1 D	—	春学期	火	4	教授	博士(文学)早大	垣内 景子	日本語
東洋哲学研究指導3-2 D	—	秋学期	火	4	教授	博士(文学)早大	垣内 景子	日本語
東洋哲学研究指導4-1 D	—	春学期	木	4	教授	Ph.D.Yale大	山部 能宜	日本語
東洋哲学研究指導4-2 D	—	秋学期	木	4	教授	Ph.D.Yale大	山部 能宜	日本語
東洋哲学研究指導5-1 D	—	春学期	月	1	教授		師 茂樹	日本語
東洋哲学研究指導5-2 D	—	秋学期	月	1	教授		師 茂樹	日本語
東洋哲学研究指導6-1 D	—	春学期	木	5	教授	博士(文学)早大	森 由利亚	日本語
東洋哲学研究指導6-2 D	—	秋学期	木	5	教授	博士(文学)早大	森 由利亚	日本語

留学生向

Intensive Studies 2 (Philosophy 2)	1	秋学期	金	3	准教授	Ph.D.コロンビア大	リープス クリストファー	英語
Intensive Studies 5 (Literature 1)	1	春学期	月	5	講師	Ph.D.(哲学)エディンバラ大	ダグリーシュ ブラム	英語
Intensive Studies 6 (Literature 2)	1	秋学期	月	5	講師	Ph.D.(哲学)エディンバラ大	ダグリーシュ ブラム	英語
Intensive Studies 7 (American Studies 1)	1	春学期	金	5	講師		ワグナー ジェイ フェリス	英語
Intensive Studies 8 (American Studies 2)	1	秋学期	金	5	教授	Ph.D.University of Rochester	チャン エドワード ケイ	英語
Intensive Studies 9 (Survey of Japanese Literature 1)	1	秋クォーター	火3	金3	講師	博士(日本語・日本文化)阪大	フィットレル アーロン	英語
Intensive Studies 10 (Survey of Japanese Literature 2)	1	冬クォーター	火3	金3	講師		追田 好章	英語
Intensive Studies 11 (Survey of Japanese Literature 3)	1	春クォーター	火3	金3	准教授	博士(学術)東京外大	チン ロ	英語
Intensive Studies 12 (Introduction to Japanese Culture and Civilization 1)	1	秋クォーター	火4	金4	講師	博士(日本語・日本文化)阪大	フィットレル アーロン	英語
Intensive Studies 13 (Introduction to Japanese Culture and Civilization 2)	1	冬クォーター	火4	金4	講師		ブルチャー ミヒャエル	英語
Intensive Studies 14 (Introduction to Japanese Culture and Civilization 3)	1	春クォーター	火4	金4	講師	Ph.D.New York University	アスタ アリエル キャザン	英語
Intensive Studies 15 (Introduction to Japanese Thought and Religion 1)	1	冬クォーター	火2	金2	講師	Ph.D.New York University	アスタ アリエル キャザン	英語
Intensive Studies 16 (Introduction to Japanese Thought and Religion 2)	1	冬クォーター	月6	木5	講師	Ph.D.ロンドン大	眞野 新也	英語
Intensive Studies 17 (Introduction to Japanese Thought and Religion 3)	1	春クォーター	火5	金5	講師	博士(日本語・日本文化)阪大	フィットレル アーロン	英語
Intensive Studies 18 (Introduction to Japanese Visual and Performing Arts 1)	1	秋学期	火	1	講師	博士(文学)イェール大	ウーラー ロビン ティビッド	英語
Intensive Studies 19 (Introduction to Japanese Visual and Performing Arts 2)	1	秋クォーター	火1	金1	講師	博士(文学)早大	ルバトロン ク ヨシ	英語
Intensive Studies 20 (Introduction to Japanese Visual and Performing Arts 3)	1	春クォーター	月2	木2	講師	博士(文学)コロンビア大	土金 康子	英語
Intensive Studies 21 (Education 1)	1	春学期	金	4	教授	博士(教育学)ICU	ホサイン タニア	英語
Intensive Studies 22 (Education 2)	1	秋学期	金	4	教授	博士(教育学)ICU	ホサイン タニア	英語
Intensive Studies 23 (Applied Linguistics 1)	1	春学期	木	5	講師		マーチャンド ティム ルイ	英語
Intensive Studies 24 (Applied Linguistics 2)	1	秋学期	木	5	講師		マーチャンド ティム ルイ	英語
Intensive Studies 25 (Critical Theory)	1	秋学期	金	4	講師	Ph.D.Columbia University	マギン ゼン ティン リー	英語
Intensive Studies 26 (Japanese Culture and Society 1)	1	春学期	水	3	講師		大平 和希子	英語
Intensive Studies 27 (Japanese Culture and Society 2)	1	夏クォーター	火3	金3	講師	Ph.D.New York University	アスタ アリエル キャザン	英語
Intensive Studies 28 (Japanese Culture and Society 3)	1	冬クォーター	火5	金5	無期講師	言語学(国語学・言語科学)インディアナ大	吉田 健二	英語

2024 年度東洋哲学コース関連の語学カリキュラム

(一部のみ掲載)

【共通科目 (外国語) (大学院設置科目)】								
フランス語1	1	春学期	月	2	講師	博士(文学)早大	長澤 法幸	日本語
フランス語2	1	秋学期	月	2	講師	博士(文学)早大	長澤 法幸	日本語
ドイツ語1	1	春学期	水	2	准教授	博士(文学)東大	江口 大輔	日本語
ドイツ語2	1	秋学期	水	2	准教授	博士(文学)東大	江口 大輔	日本語
ドイツ語3	1	春学期	月	5	教授	Ph.D.ロストック大	クラヴィッター アルネ	ドイツ語
ドイツ語4	1	秋学期	月	5	教授	Ph.D.ロストック大	クラヴィッター アルネ	ドイツ語
ロシア語1	1	春学期	水	2	無期講師	博士(文学)ポツダム大	ヴァレリー・グリュコ	ロシア語
ロシア語2	1	秋学期	水	2	無期講師	博士(文学)ポツダム大	ヴァレリー・グリュコ	ロシア語
ラテン語1	1	春学期	月	3	教授	博士(文学)京大	宮城 徳也	日本語
ラテン語2	1	秋学期	月	3	教授	博士(文学)京大	宮城 徳也	日本語
ギリシャ語1	1	春学期	火	5	講師		近藤 智彦	日本語
ギリシャ語2	1	秋学期	火	5	講師		近藤 智彦	日本語
中国古典語1	1	春学期	火	4	無期講師	博士(文学)北京大	丸井 憲	日本語
中国古典語2	1	秋学期	火	4	無期講師	博士(文学)北京大	丸井 憲	日本語
現代中国語1	1	春学期	金	5	講師		小島 瑞紀	日本語
現代中国語2	1	秋学期	金	5	講師		小島 瑞紀	日本語
サンスクリット語1	1	春学期	火	3	教授	Ph.D.Yale大	山部 能宜	日本語
サンスクリット語2	1	秋学期	火	3	教授	Ph.D.Yale大	山部 能宜	日本語
研究のための日本語表現1 (アカデミックスキル)	1	春学期	月	4	無期講師		川端 芳子	日本語
研究のための日本語表現2 (アカデミックスキル)	1	秋学期	月	4	無期講師		川端 芳子	日本語
研究のための日本語表現3 (研究発表のための日本語)	1	春学期	月	3	無期講師	博士(文学)早大	三原 裕子	日本語
研究のための日本語表現4 (研究発表のための日本語)	1	秋学期	月	3	無期講師	博士(文学)早大	三原 裕子	日本語

入試について

推薦入学試験（早稲田大学在学学生）	7 月ごろ
一般入学試験（一般外国語：1 カ国語、専門科目）	9 月ごろ
論文特別選抜（早稲田大学在学学生）	1 月ごろ

修士論文 題目例

- 朱熹の鬼神解釈
- 吉田松陰の王道政治について
- 『正法眼蔵』における『妙法蓮華経』
- 道範の成仏思想研究
- 湛然撰『金剛鉤論』の研究
- 『守護国界章』の研究
- 天台教学における頓教の思想的展開
- 天台智顗の放生行に関する考察
- 東密の三昧耶戒説
- 伍守陽の煉丹術に見る実践と生活
- 菅原道真における三世観
- 『瑜伽師地論』における縁起と業の研究
- 『心性罪福因縁集』の「念仏」観
- 『列女伝』に見られる劉向の政治思想について
- 曹操の思想と諸政策
- 靈寶經典『元始五老赤書玉篇眞文天書經』の研究
- 劉一明の内丹思想とその射程
- 『維摩経』における唯心思想
- 金・モンゴル・元朝期における河東地域の全真教について
- 唯識学派における三性説
- チャンドラキールティの二諦説
- 何焯の『三国志』批校
- 六朝隋唐における仏教者の道教認識
- 貝原益軒の写本及び刊本『大疑録』の成立と展開
- 法蔵撰『華嚴三昧観』の基礎的研究
-

博士学位請求論文 題目例

- 王陽明資料の新研究—龍場に至るまで—
- 司馬光「心」学考—王安石「性命之理」学との対立から—
- 王安石政治思想研究
- 16世紀後半から19世紀はじめの朝鮮・日本・琉球における＜朱子学＞遷移の諸相
- 「改過」から「慎習」へ——明末清初期における修養論の展開
- 初期瑜伽行派におけるヨーガ理論の形成：『瑜伽師地論』『声聞地』の研究
- 初期華嚴教学の形成とその展開
- 中世日本密教の形成と展開
- 禪那院珍海已講の浄土教思想
- 近世日蓮宗宗論の研究
- 趙宋天台における円融論の展開
- 全真教の継承と正統性の再発見——明末から道光年間初期の龍門派門徒と蔣予蒲の呂祖扶乩信仰を中心に
- 唐宋における煉丹術の展開—「外丹」の再定義をめぐって—
- 日吉社及び山王神道の研究
- 日本古代中世における百鬼夜行譚の形成と変容
- 説一切有部における有漏法と無漏法の定義とその展開
- 隋代天台教学の研究
- 後漢思想社会史研究
- 古代中国における「書」をめぐる思想の形成魏晉玄学史の研究
- 聖聡教学における弥陀身土論の研究
- 宋代天台山家教学の研究—南宋時代における継承と発展—
- 道元の実相論・心・經典觀の研究—発心を鍵として—
- 元禄期における茶の湯と禅：『南方録』と径山寺台子伝来譚
- 最澄・徳一論争の研究—最澄教学の淵源とその展開—
- 江島縁起と弁才天信仰—本文の検討と諸本の比較研究—

東洋哲学コース（院）進路例

◆修士課程

民間企業、進学、公務員、学校職員、その他

◆博士後期課程

高校教員、大学教員、企業、その他

東洋哲学コースについて知りたいときはコース室に連絡ください。

39号館4階2419号室 直通電話：03-5286-3701

メール：waseda.totetsu@gmail.com

（助教：田中 亜美）

コースウェブサイト：<https://dpt-bun-totetsu.w.waseda.jp/>